

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 生涯学習の推進

施策コード	020201
-------	--------

1. 施策の担当	
主管課	教育部 生涯学習課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第2章 歴史・文化を大切に、ひとを豊かに育むまちづくり (教育・文化)	節	第2節 生涯学習・スポーツ
	施策	生涯学習の推進		

基本方針

- ・市民一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るために、生涯を通して学習活動が行える「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べるまちづくりを推進します。
- ・「地域の情報拠点」としての図書館機能を充実します。

現況と課題

- ・生涯学習センター、各公民館は、市民の自主的な生涯学習の場としてのクラブの充実を図り、また、各施設においてボランティア講師の活用を図るなど、多様な各種講座の開催を推進していますが、さらに利用しやすい生涯学習の場として期待されています。
- ・図書館は、民間の力を活用しながら、地域住民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資することを目的として必要な資料を収集及び蓄積し、求められた資料や情報を誰にでも公平に利用する機会を提供する役割を担ってきました。また、従来から資料の貸借等、他の図書館との連携の実績があり、学校図書館への配本サービス等の小学校、中学校や幼稚園向けのサービスを実施しています。これからは、高度情報化社会において多様化、高度化する住民ニーズに対して、電子化された情報の提供等も含め、適切に対応していくことが求められています。

施策目標

対象 (誰を、何を、どこを)

市民

意図 (どのような状態にしたいのか)

市民が文化活動を通じて自己実現を図っている。市民が読書などで、知的欲求を満たしている。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	58.3						54.5
重要度 (偏差値)	50.3						50.4

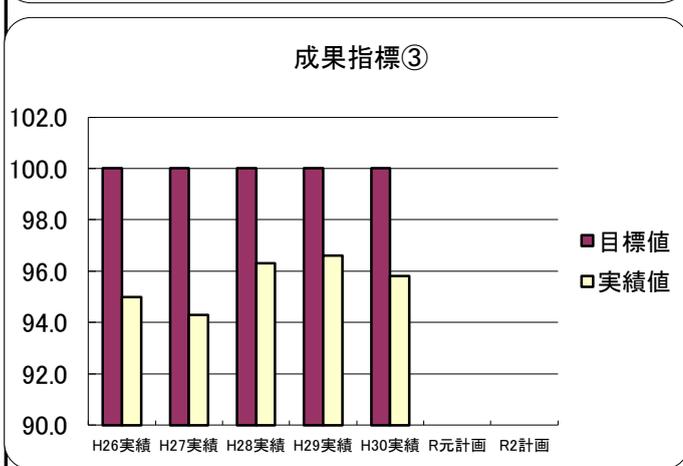
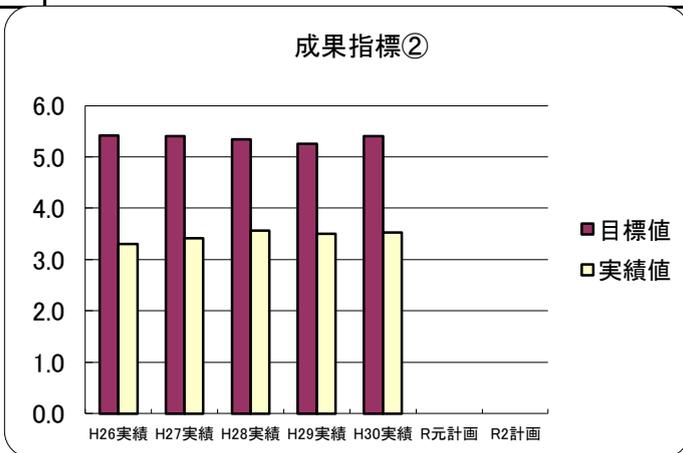
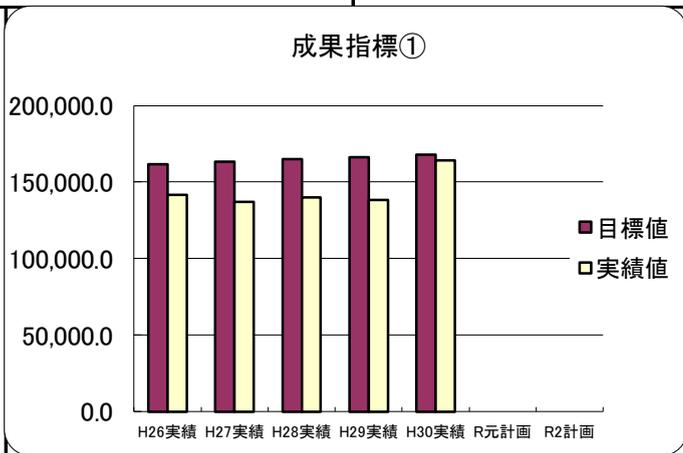
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	31,091	37,803				
	事業費		152,696	168,261				
	フルコスト		183,787	206,064				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		28,204	24,685				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		155,583	181,379				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		124,492	143,576				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		生涯学習センター、佐野公民館、長南公民館及び北部公民館の合計年間利用者数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	161,600.0	163,200.0	164,800.0	166,440.0	168,100.0		
実績値	141,640.0	137,236.0	140,060.0	138,488.0	164,001.0		
達成度	87.65	84.09	84.99	83.21	97.56		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
主催講座への参加者数、自主サークルグループなどの貸館での利用者数等を合計して年間の利用者総数を算出。利用者総数を把握することにより、市民の学術・文化及び教養の向上、健康社会福祉の増進、さらには生涯学習の広がりをはかるメルクマールとします。		毎年1%増加を目標として設定した結果の値		H30年度より北部市民交流センター内に北部公民館が開設した影響で利用者が増加した。今後いっそう高齢利用者の比重が増えることから、高齢者の参加しやすい講座を企画し、さらには子育て親子の集える場を設ける等により利用者の増加につなげていきたい。			

② 成果指標2		図書館における人口あたりの個人年間貸出冊数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	5.42	5.4	5.34	5.26	5.4		
実績値	3.3	3.41	3.57	3.5	3.53		
達成度	60.89	63.15	66.85	66.54	65.37		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この数値の把握により、地域の情報拠点として、市民への資料・情報の提供が進んでいるか、市民が読書などで知的欲求を満たしているのかの指標となります。		平成18年度の全国平均値は5.22冊、大阪府下平均値は5.91冊となっています。全国・大阪府下ともに増加傾向にあり、現状では全国よりも大阪府下の平均値が上回っています。5年後に全国平均値に追いつくこと、10年後に大阪府下平均値に追いつくことをめざして、目標値はあえて固定の数値ではなく、それぞれの該年度の平均値としました。		H30年度より北部公民館図書室が開設した影響で、利用が増加した。今後も市民のニーズに合致した新規事業などを実施し、図書館サービスの充実に取り組んでいきたい。(数値では出てこないが、図書館には常に多くの人々が、新聞や辞書などの貸出できない資料、情報を求めて利用している。)			

③ 成果指標3		生涯学習センター、佐野公民館及び長南公民館の主催講座受講者の満足度					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	95.0	94.3	96.3	96.6	95.8		
達成度	95.0	94.3	96.3	96.6	95.8		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
生涯学習センター、佐野公民館及び長南公民館の運営事業における主催講座開催時に参加受講者から「アンケート」を実施し、満足度につき5段階評価を行った。利用者からの評価として、「5、大変良かった」「4、良かった」の評価をいただいたもののパーセンテージを算出した。		市民の多様な学習意欲、生きがいづくりに応えるため、「だれでも」がなんらかの部分で”良かった”と感じることのできる講座、そして快適な施設利用環境、適切な職員への対応をめざし、設定値とした。		おおむね高い満足度をいただいたが、前年度より減少になった。目標値には到達しなかった。今後も市民ニーズを分析しながら現代的な課題、多様な内容の講座の企画を行い、満足度を上げるように努めたい。			

図表



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	文化活動の多様性が見られる現状において、それらの入口として書籍、生涯学習活動は一定の役割をはたしていると考えられる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	H30市民アンケートの満足度(偏差値)は54.5%となり、H24に比べ減少した。 図書館については、幅広い年齢層の利用およびきめ細かい対応が求められ、多様化・情報通信技術の進歩の中での新鮮な資料・情報、そして文化活動をさまざまな世代に広げるニーズが常にある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	生涯学習全般への市民の関心は高く、現状の維持および広報の充実の実施を図る。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	生涯学習に対しての市民のニーズは高く、市民の学習意欲を引き続き維持し、現況から周知拡大を実施する。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		C	図書館における人口あたりの個人年間貸出冊数の増加に努めること。
三次評価(理事者による評価)		C	図書館における人口あたりの個人年間貸出冊数の増加に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01058400	識字学級運営事業	973	1,812	1,812	B
2	01058500	社会教育団体支援事業	2,133	2,281	2,023	B
3	01058600	生涯学習推進事業	617	27	27	B
4	01058700	文化祭事業	5,703	1,187	1,187	B
5	01059300	生涯学習センター運営事業	24,848	10,666	4,320	B
6	01083225	図書館管理運営事業	3,529	152,288	134,207	B
合計			37,803	168,261	143,576	